ふりがな　　かみたけ　ようしろう

氏 名　　**神武　庸四郎**

1. 学歴

1971 年　3 月　横浜国立大学経済学部卒業

1971 年　4 月　一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学

1976 年　3 月　一橋大学大学院経済学研究科博士課程修了，退学

2. 職歴・研究歴

1976 年　4 月　一橋大学経済学部専任講師

1980 年　7 月　一橋大学経済学部助教授

1986 年　3 月 – 1987 年 1 月

Research Scholar としてロンドン大学経済学部（London School of Economics）の Business History Unit に留学

1988 年 10 月　一橋大学経済学部教授

1993 年　一橋大学博士（経済学）

1998 年　4 月　一橋大学経済学研究科教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

（a）学部学生向け

経済史入門，文明史

（b）大学院

文明史

B. ゼミナール

学部前期，学部後期，大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

最近 5 年間以内に担当した講義科目とその主内容は以下のとおりです：

Ⅰ　経済史入門・・・経済史学という切り口から，とくに理論的な側面に焦点をあわせて経済学全体，さらには社会科学一般への入門的な解説を試みています。講義資料の配布はダウンロード方式を採用し，それを教科書の補助資料として役立てています。講義では教科書と講義資料のほかにパワーポイントのスライドを用いて受講者に対して視覚的に講義内容を理解させるようにしております。

Ⅱ　文明史・・・地域文化（とくにヨーロッパ的「教養」および日本文化）と資本主義文明との比較というかたちで文明史の理論を講義しています。そのばあい全体的に実感的な理解を深めることを重視し，現代文明史の理論的分析や文化理論の構成に対応させて映画というイメージ形成の手段が導入されます。そうした意図のもとで講義の

なかでは映画鑑賞もおこなわれます。各映画についての解説は映画評論としてではなく文化・文明の概念的理解を補完する手段として位置づけられます。

Ⅲ　基礎ゼミナール・・・日本を代表する社会科学者丸山眞男の著作を輪読しながら社会科学全般におよぶトピックを理論的に把握するための多様な方法を解説しました。テキストとしては『現代政治の思想と行動』および『日本の思想』を用いました。

Ⅳ　学部ゼミナール・・・経済理論史，経済哲学，数学的構造主義，パラダイム論，社会システム論などをテーマとしていろいろな科学方法論や哲学的立場についてメタ経済学的な視点から検討してきました。テキストとしては私自身の著作のほか，丸山眞男，三木清，J. Piaget, T. Kuhn, N. Luhmann らの著書を輪読しました。

4. 主な研究テーマ

（1）経済史学（経済史の理論）
（2）思想史（とくに経済思想史）
（3）経済哲学・科学哲学
（4）科学史

5. 研究活動

A. 業績

（a）著書・編著

〔単著〕
『イギリス金融史研究』お茶の水書房，1979 年。
『経済思想とナショナリズム』青木書店，1990 年。
『銀行と帝国—イギリス「銀行統合運動」史の研究—』青木書店，1992 年。
『パーリアの楔—世界史の構造理論—』有斐閣，1994 年。
『経済学の構造—一つのメタエコノミーク—』未来社，1996 年。
『経済史入門』有斐閣，2006 年。
〔共著〕
『西洋経済史』有斐閣，1989 年。萩原伸次郎との共著。
〔共編著〕
『社会的異端者の系譜—イギリス史上の人々—』三省堂，1989 年。浜林正夫との共編著。

（b）論文（査読つき論文には*）

＊「19 世紀後半におけるマーチャント・バンカーの公債発行業務の特質」『金融経済』143 号，1973 年。
＊「チェンバレン・キャンペインとロンドン『銀行協会』」『社会経済史学』第 39 巻 4 号，1974 年。
＊「イギリス預金銀行の支店管理組織と対外関係（1891-1913 年）」『金融経済』151 号，1975 年。
＊「19 世紀後半のイギリス資本主義と『自由貿易帝国主義』論」『歴史評論』1975 年 10 月号。
「19 世紀後半のロンドンにおける公債発行とイギリス株式銀行」『一橋論叢』第 76 巻 5 号，1976 年。
「第一次大戦前のイギリス海運企業金融の特質」『一橋論叢』第 77 巻 6 号，1977 年。
「19 世紀後半におけるイギリス株式会社形成過程の特質」『一橋大学研究年報　経済学研究』21 号，1978 年。

「1879 年改正会社法の歴史的意義—イングランドにおける株式銀行の成立によせて—」『一橋論叢』第 82 巻 4 号, 1979 年。

「トーマス・ジョプリンにおける合本銀行の構図」『一橋論叢』第 85 巻 1 号, 1981 年。

"Some Notes on the Life and Works of Sir Edward Holden," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol .23(No. 2),1983.

「英帝国内における『銀行統合運動』の経済史的意義」『一橋大学研究年報　経済学研究』25 号, 1984 年。

＊「イギリス『金融資本』分析の課題」社会経済史学会編『社会経済史学の課題と展望』有斐閣, 1984 年, 所収。

＊「J. F. ダーリングの『帝国通貨証券』構想とその帰結」山田秀雄編著『イギリス帝国経済の構造』新評論, 1986 年, 所収。

"Darling, Goodenough and McKenna: Economic Thoughts of the City towards British Return to Gold in 1925," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 27 (No. 2), December, 1986.

＊「マーシャル『産業と商業』」『社会経済史学』第 50 巻 4 号, 1988 年。

「イギリスのファシスト—オズワルド・モーズリの生涯—」『社会的異端者の系譜—イギリス史上の人々—』, 1989 年 [前掲], 所収。

「工業退化と産業金融—イギリス経済史論の批判的再構成—」『一橋大学研究年報　経済学研究』30 号, 1989 年。

"The Process of De-industrialisation in Modern Economic History: Lessons from British Historical Experience," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 31 (No. 1), June, 1990.

「レジナルド・マッケナの経済思想」一橋大学古典資料センター, *Study Series*, 1991 年。

「いわゆる『姿態変換』の構造」『一橋論叢』第 113 巻 6 号, 1995 年。

「『姿態変換群』の線型表現—「姿態変換」から「再生産表式」へ—」『一橋論叢』第 114 巻 6 号, 1995 年。

「構造と疎外」『一橋大学研究年報　経済学研究』40 号, 1998 年。

「『姿態変換群』の構造転形」『一橋論叢』第 120 巻 6 号, 1998 年。

「プロメテウスの宿業」『一橋大学研究年報　経済学研究』41 号, 1999 年。

「『臓器移植』の超経済学」『一橋論叢』第 122 巻 6 号, 1999 年。

「生産と消費の超経済学」『一橋論叢』第 123 巻 6 号, 2000 年。

「歴史の構造」『一橋大学研究年報　経済学研究』42 号, 2000 年。

「『正統対異端』の構造」『一橋論叢』第 124 巻 6 号, 2000 年。

＊「大塚久雄『株式会社発生史論』」『書斎の窓』有斐閣, 2000 年 12 月号。

「『産業革命』の成立」『一橋論叢』第 125 巻 6 号, 2001 年。

「歴史学の構造と理念」『一橋大学研究年報　経済学研究』43 号, 2001 年。

「『風土』の構造」『一橋論叢』第 126 巻 6 号, 2001 年。

「構造分析の方法論」『一橋論叢』 第 127 巻 6 号, 2002 年

「産業革命の構造」[Ⅰ]『一橋大学研究年報　経済学研究』44 号, 2002 年。

「構造連関の概念」『一橋論叢』第 128 巻 6 号, 2002 年。

「冤罪とコミュニケーション構造」『一橋論叢』第 129 巻 6 号, 2003 年。

「産業革命の構造」[Ⅱ]『一橋大学研究年報　経済学研究』45 号, 2003 年。

「価値の構造」『一橋論叢』第 130 巻 6 号, 2003 年。

「社会的な場とコミュニケーション構造」『一橋論叢』第 131 巻 6 号, 2004 年。

「歴史主義と論理主義—批判的考察—」『一橋大学研究年報　経済学研究』46 号, 2004 年。

「『国家神道』における神話的現実」『一橋論叢』第 132 巻 6 号, 2004 年。

「経済システム論の基礎概念」『一橋論叢』第 133 巻 4 号, 2005 年。

「『無常』の構造」『一橋論叢』第 133 巻 6 号, 2005 年。

「経済システム分析の予備概念」『一橋大学研究年報　経済学研究』47 号, 2005 年。

「デモクラシーからオクロクラシーへ」『一橋論叢』第 134 巻 6 号, 2005 年。

"The formal structure of metamorphosis of capital," *Hitotsubshi Journal of Economics*, Vol. 47, No. 1, June 2006.

"From Democracy to Ochlocracy," *Hitotubashi Journal of Economics*, Vol. 48, No. 1, June 2007.

"The Formal Structure of Industrial Revolutions," *Hitotsubashi Journal of Social Studies*, Vol. 40 No. 1, July 2008.

"Preliminary Concepts for Economic Systems Analysis," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 49, No. 2, December 2008.

（c） 翻訳

ホブズボーム『産業と帝国』未来社, 1984 年。浜林正夫・和田一夫との共訳。

6. 学内行政

（a） 部所長・評議員等

評議員（1995 年 4 月 － 1997 年 3 月）

7. 学外活動

（b） 所属学会および学術活動

経済学史学会